

令和5年度 大和郡山市学校規模適正化等審議会

令和 6年 2月 6日 (火) 14:00～
市役所3階 308会議室

■次 第

1. 開 会

2. 委員紹介

3. 案 件

(1) 審議会の経過について

(2) 児童生徒数の現状について

(3) 児童生徒数、学級数の将来シミュレーションについて

(4) その他

・令和5年度奈良県義務教育学校連絡会について

4. 閉 会

大和郡山市学校規模適正化等審議会委員名簿

(任期:R4.6.5~R6.6.4)

区 分	氏 名	所 属	任 期
学識経験を有する者	恒岡 宗司	元奈良学園大学特別客員教授	R4. 6. 5~R6. 6. 4
〃	石川 泰弘	元教育委員会委員	R4. 6. 5~R6. 6. 4
市議会議員	村田 俊太郎	大和郡山市議会議員(教育福祉常任委員長)	R5. 5. 16~R6. 6. 4
学校関係者	川口 次郎	大和郡山市校園長会	R5. 4. 1~R6. 6. 4
PTAの代表者	亀岡 宏和	大和郡山市PTA連合協議会	R5. 6. 23~R6. 6. 4
自治会の代表者	植村 俊博	大和郡山市自治連合会	R4. 6. 5~R6. 6. 4
その他教育委員会が必要と認める者	中尾 誠人	大和郡山市 副市長	R4. 6. 5~R6. 6. 4
	八木 謙治	大和郡山市 総務部長	R4. 6. 5~R6. 6. 4

(1) 大和郡山市学校規模適正化等審議会の経過について

1. 答申までの経過

平成30年6月、大和郡山市学校規模適正化等審議会を設置し、約2年間（計9回）の審議を経て、令和2年2月、「大和郡山市立小・中学校の学校規模・学校配置の適正化について（答申）」を受ける。

第1回目	H30. 6. 5	第4回目	H31. 1. 22	第7回目	R 1. 10. 29
第2回目	H30. 8. 21	第5回目	R 1. 5. 28	第8回目	R 1. 12. 26
第3回目	H30. 11. 20	第6回目	R 1. 7. 30	第9回目	R 2. 2. 4

以上、学校長及び市民アンケートや学校視察などを行い、様々な視点から検討を重ね、子どもの教育環境の向上と活力ある学校づくりの観点から、下記内容について継続的に丁寧に検討を行う事と提言をいただいた。

2. 学校規模の適正化に関する基本的な考え方

(1) 1学級あたりの児童生徒数について

小学校：1学級 21人～30人 中学校：1学級 21人～30人

(2) 1学年あたりの学級数について

小学校：1学年 2学級～3学級 中学校：1学年 4学級～6学級

3. 学校配置の適正化に関する基本的な考え方

(1) 通学区域の変更

隣接する学校との通学区域の見直しにより、適正規模の確保を図る。

(2) 学校の統合

隣接する学校との統合により、適正規模の確保を図る。

4. 適正化に伴い留意すべき事項

(1) 通学路の安全性の確保

通学距離が長くなる場合は、通学路の安全確保に努め、スクールバス等代替交通手段の導入についても検討する。

(2) 地域とのつながりへの配慮

校区変更や学校統合がやむを得ない状況にあることが理解されるよう、地域への丁寧な説明に配慮する。

(3) 児童生徒への配慮

教職員の加配措置やスクールカウンセラーの配置等、児童生徒の心のケアへの対応に配慮する。

(4) 小中一貫校等の導入

小中一貫校等について、成果と課題を十分に精査した上で、活力ある学校づくりの観点から導入について検討する。

5. 令和2年度学校規模適正化等審議会での経過について

令和2年11月10日（火） 14:00～ 議会第1委員会室

出席委員： 恒岡会長、福田委員、田中委員、河野委員、中尾委員、八木委員

欠席委員： 石川副会長、植村委員

主に、以下3点

(1) 今後の進め方について

「通学区域の変更」、「学校の統合」及び、「小中一貫校など」について、先進地視察などを行い、調査研究していく。調査研究内容については、必要に応じて審議会へ報告する。

(2) 調査研究の体制、期間について

教育委員会内でワーキンググループを立ち上げ、期間については調査研究を進める中で検討していきたい。

(3) 審議会の開催頻度について

調査研究を進める中で必要に応じて審議会を開催し、意見を伺っていきたい。

6. 令和3年度学校規模適正化等審議会での経過について

令和4年2月1日（火） 14:00～ 議会第1委員会室

出席委員： 恒岡会長、石川副会長、丸谷委員、田中委員、木多委員、植村委員、中尾委員、八木委員

主に、以下3点

(1) 令和3年度の取り組みについて

コロナ禍のためあまり活動ができなかったが、ワーキンググループの設置要綱を作成した。

(2) ワーキンググループについて

役割については、学校の適正規模や適正配置等に関し、事務局の実行作業部会として調査研究を行うもので、令和4年度については、小中一貫校等について焦点を絞って取組み、具体的にはどのようなものか、メリット・デメリットはなにかを現地視察し、その成果について審議会に報告し意見を伺っていきたい。

(3) 審議会委員の先進地域の視察について

審議会委員の先進地域の視察についても実施していく方向で検討していきます。

7. 令和4年度学校規模適正化等審議会での経過について

(1) ワーキンググループ会議

- 第1回 令和4年7月22日(金) WG任命、視察地の選定スケジュール
- 第2回 令和4年8月26日(金) 視察候補地の選定、視察地の質問事項検討
- 視 察 令和4年11月9日(水) 11日(金)
生駒北小中学校、王寺北義務教育学校、ほそごう学園を視察
- 第3回 令和4年12月22日(木) 視察内容の取りまとめ

(2) 学校規模適正化等審議会

- 第1回 令和4年10月28日(金) 小中一貫型小中学校・義務教育学校の
視察地の決定
- 第2回 令和5年2月21日(火) WGより視察内容の報告、審議

(3) 取り組み内容

WGにおいて、視察候補地となる小中一貫型小中学校・義務教育学校の選定及び質問事項を検討し、第1回学校規模適正化等審議会にて視察地等を決定する。

第2回審議会にて、WGより、生駒北小中学校、王寺北義務教育学校、ほそごう学園の視察結果について、小中一貫型小中学校・義務教育学校のメリット・デメリットを中心に報告を受けた。

(4) 小中一貫型小中学校・義務教育学校のメリット・デメリット

メリット

- 児童生徒の縦のつながりと教員間の横のつながり
- 中学生は上級生としての自覚、小学児童は目標、憧れをもって、相乗効果が見られる
- 9年間を見通した指導方針の確立
- 中一ギャップの解消 など

デメリット

- 9年間同じクラスメートと過ごすため、卒業後進路先での戸惑いの課題
- 教員免許(人員配置)の課題 など

(5) 審議会での受け止め

学校規模適正化の選択肢

通学区域の変更や学校統合を検討していくうえにおいての一つの選択肢として、小中一貫型小中学校や義務教育学校を学校規模適正化の選択肢の一つとして排除しないこととする。

調査研究の継続

小中一貫型小中学校・義務教育学校について、表面的だけでは聞くことのできないようなデメリットがないか、メリットとして挙げられていることが単に新しい建築物によるものではないか、また、導入にあたってはどのように教員の意識改革、研修を行っていくかなど、さらに調査研究を進める必要がある。

(2) 児童・生徒数等の現状について

○児童数、生徒数、学級数の推移

近年、小学校の児童数は減少傾向が続いており、令和5年度の児童数は、15年前のH20と比べ市全体で1,256人、25.5%の減、10年前のH25と比べても794人、17.8%の減の3,670人となっています。また、学級数はH25に比べ26学級減の136学級となっています。

【小学校児童数、学級数の推移】

施設名	項目	H20	H25	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H25-R5 増減数	増減率
郡山南小	児童数	615	610	629	587	577	570	535	517	△ 93	-15.2%
	学級数	20	20	19	20	20	20	19	18	△ 2	-10.0%
筒井小	児童数	415	409	370	368	354	342	310	308	△ 101	-24.7%
	学級数	14	14	12	12	12	12	12	12	△ 2	-14.3%
矢田小	児童数	309	287	225	215	208	211	218	213	△ 74	-25.8%
	学級数	13	12	9	9	9	9	9	9	△ 3	-25.0%
平和小	児童数	354	352	283	279	260	245	249	243	△ 109	-31.0%
	学級数	13	12	11	10	9	8	9	9	△ 3	-25.0%
治道小	児童数	123	68	92	85	92	90	86	84	16	23.5%
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	0	0.0%
昭和小	児童数	482	443	383	394	384	367	349	352	△ 91	-20.5%
	学級数	17	15	14	13	12	12	12	12	△ 3	-20.0%
片桐小	児童数	557	467	399	380	387	375	348	332	△ 135	-28.9%
	学級数	18	17	14	13	14	13	13	13	△ 4	-23.5%
郡山北小	児童数	676	598	574	563	553	553	549	519	△ 79	-13.2%
	学級数	23	20	19	19	19	19	19	18	△ 2	-10.0%
片桐西小	児童数	506	425	443	430	450	423	408	385	△ 40	-9.4%
	学級数	17	15	17	17	17	16	15	14	△ 1	-6.7%
郡山西小	児童数	540	483	483	486	474	487	503	494	11	2.3%
	学級数	19	18	18	18	17	18	17	17	△ 1	-5.6%
矢田南小	児童数	349	322	280	259	246	233	214	223	△ 99	-30.7%
	学級数	13	13	11	11	8	7	7	8	△ 5	-38.5%
合計	児童数	4926	4464	4161	4046	3985	3896	3769	3670	△ 794	-17.8%
	学級数	173	162	150	148	143	140	138	136	△ 26	-16.0%

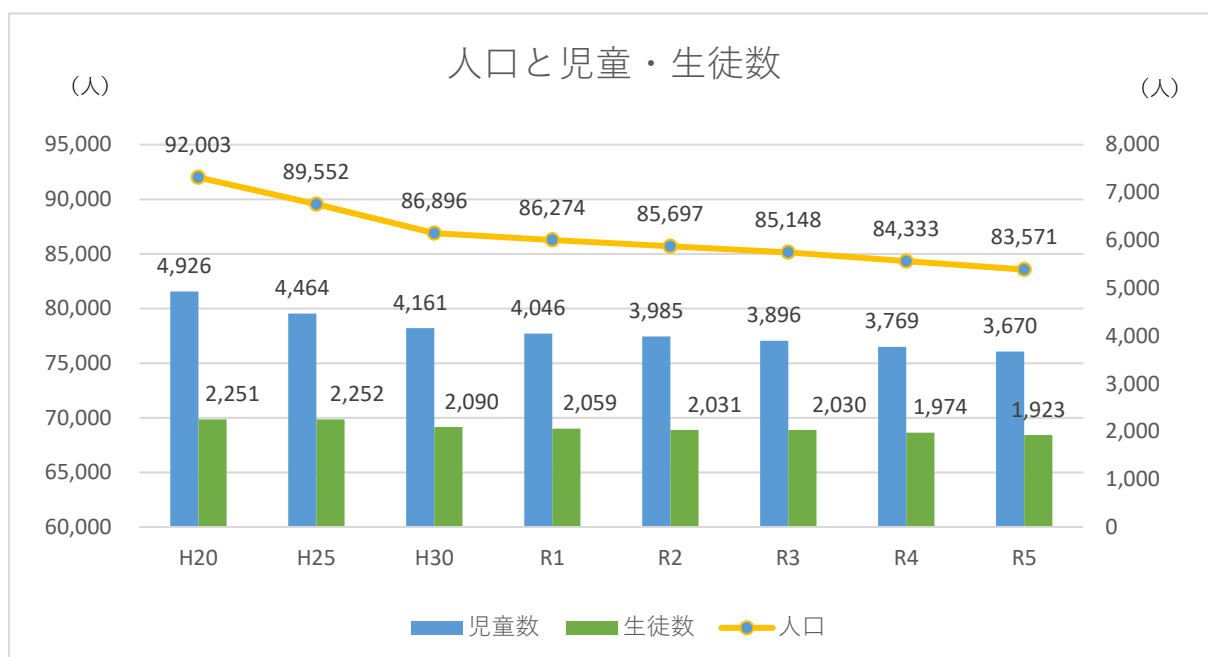
※学級数は特別支援学級を除く

中学校の生徒数においても、小学生と同様の減少傾向で、令和5年度の生徒数は15年前のH20と比べ市全体で328人、14.6%の減、10年前のH25と比べても329人、14.6%の減の1,923人となっています。また、学級数はH25に比べ14学級減の58学級となっています。

【中学校生徒数、学級数の推移】

施設名	項目	H20	H25	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H25-R5 増減数	増減率
郡山中	生徒数	808	814	734	761	761	777	744	742	△ 72	-8.8%
	学級数	23	25	21	22	22	22	21	21	△ 4	-16.0%
郡山南中	生徒数	491	598	554	501	471	462	484	470	△ 128	-21.4%
	学級数	15	18	17	16	14	14	14	14	△ 4	-22.2%
郡山西中	生徒数	356	324	344	325	319	291	291	256	△ 68	-21.0%
	学級数	12	11	12	10	11	9	9	8	△ 3	-27.3%
郡山東中	生徒数	266	209	177	177	173	172	147	149	△ 60	-28.7%
	学級数	9	7	6	6	6	6	5	6	△ 1	-14.3%
片桐中	生徒数	330	307	281	295	307	328	308	306	△ 1	-0.3%
	学級数	12	11	9	10	10	10	9	9	△ 2	-18.2%
合計	生徒数	2251	2252	2090	2059	2031	2030	1974	1923	△ 329	-14.6%
	学級数	71	72	65	64	63	61	58	58	△ 14	-19.4%

※学級数は特別支援学級を除く



※学級数について

近年、特別支援学級に進む生徒の割合が増加しているため、普通学級と特別支援学級を加えた学級数の減少幅は小さくなっている。

【小学校 普通学級+特別支援学級】

施設名	項目	H20	H25	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H25-R5 増減数	増減率
郡山南小	学級数	24	24	23	24	24	24	24	23	△ 1	-4.2%
筒井小	学級数	17	16	16	15	15	16	16	15	△ 1	-6.3%
矢田小	学級数	15	14	11	11	11	11	14	13	△ 1	-7.1%
平和小	学級数	15	14	13	12	11	10	11	10	△ 4	-28.6%
治道小	学級数	8	8	7	7	7	8	8	8	0	0.0%
昭和小	学級数	20	17	19	19	18	17	17	18	1	5.9%
片桐小	学級数	20	20	18	17	19	19	16	17	△ 3	-15.0%
郡山北小	学級数	26	22	23	24	25	25	26	23	1	4.5%
片桐西小	学級数	20	20	20	21	21	20	19	18	△ 2	-10.0%
郡山西小	学級数	23	20	22	22	23	25	24	22	2	10.0%
矢田南小	学級数	15	15	13	13	11	10	11	12	△ 3	-20.0%
合計	学級数	203	190	185	185	185	185	186	179	△ 11	-5.8%

【中学校 普通学級+特別支援学級】

施設名	項目	H20	H25	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H25-R5 増減数	増減率
郡山中	学級数	24	29	24	27	27	26	25	27	△ 2	-6.9%
郡山南中	学級数	17	22	22	21	19	18	19	19	△ 3	-13.6%
郡山西中	学級数	13	13	15	14	14	11	11	10	△ 3	-23.1%
郡山東中	学級数	10	8	8	8	7	7	7	8	0	0.0%
片桐中	学級数	15	14	13	13	12	13	11	12	△ 2	-14.3%
合計	学級数	79	86	82	83	79	75	73	76	△ 10	-11.6%

○児童数・生徒数、学級数（令和5年5月1日現在）

（小学校）

R5.5.1

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計	特別支援学級	合計
郡山南小	児童数	65	74	93	85	77	99	493	24	517
	学級数	2	3	3	3	3	4	18	5	23
筒井小	児童数	47	39	56	51	50	53	296	12	308
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	3	15
矢田小	児童数	28	38	36	36	31	32	201	12	213
	学級数	1	2	2	2	1	1	9	4	13
平和小	児童数	37	45	35	33	53	35	238	5	243
	学級数	2	2	1	1	2	1	9	1	10
治道小	児童数	18	11	9	16	15	12	81	3	84
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8
昭和小	児童数	54	46	48	57	59	64	328	24	352
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	6	18
片桐小	児童数	47	37	45	75	51	60	315	17	332
	学級数	2	2	2	3	2	2	13	4	17
郡山北小	児童数	76	86	84	74	82	93	495	24	519
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	5	23
片桐西小	児童数	50	59	59	79	63	53	363	22	385
	学級数	2	2	2	3	3	2	14	4	18
郡山西小	児童数	66	85	79	76	76	91	473	21	494
	学級数	2	3	3	3	3	3	17	5	22
矢田南小	児童数	39	28	32	33	33	40	205	18	223
	学級数	2	1	1	1	1	2	8	4	12
合計	児童数	527	548	576	615	590	632	3488	182	3670
	学級数	21	23	22	24	23	23	136	43	179

（中学校）

R5.5.1

		1年生	2年生	3年生	小計	特別支援学級	計
郡山中	生徒数	237	246	240	723	19	742
	学級数	7	7	7	21	6	27
郡山南中	生徒数	129	159	160	448	22	470
	学級数	4	5	5	14	5	19
郡山西中	生徒数	65	97	83	245	11	256
	学級数	2	3	3	8	2	10
郡山東中	生徒数	54	38	52	144	5	149
	学級数	2	2	2	6	2	8
片桐中	生徒数	96	86	108	290	16	306
	学級数	3	3	3	9	3	12
合計	生徒数	581	626	643	1850	73	1923
	学級数	18	20	20	58	18	76